

卒業式特集



3年生の卒業と同時に新しい息吹がもうそこまで来ているのを感じます。

季節の移り変わりと同時に、校内に咲く花々も変わりゆきます。

2月には川津桜がピンクの華やかな花を咲かせました。その中を3年生は旅立っていきました。

3月、植えられたばかりのシデコブシが遠慮がちに花を咲かせる中、先生たちは次年度の準備をしてきました。

さて、入学式にはソメイヨシノがまだ咲いているでしょうか。

生徒の世代交代と入れ替わりの季節の移り変わり…。

花は、そして命は次に向かって進んでいきます。



学校長 梅田 功

日本では感じられない思い

211 田中 歩 (扶桑町立扶桑北中学校出身)

修学旅行では、ザルツブルクとウィーンを訪れました。ザルツブルクは、モーツァルトの生まれ故郷です。彼は「神童」と呼ばれるくらいにすばらしい作品をいくつも手がけていますが、街を歩いていると、現地の人が今も彼を愛しているとすぐに分かるくらい、モーツァルトのお店がたくさんありました。

ウィーンでは、オペレッタ「こうもり」とミュージカル「ラ・マンチャの男」を観ました。言語は違いましたが、本場の音楽は言葉で表現できないほどすばらしく、とても感動しました。平和学習では、マウトハウゼン強制収容所に行きました。ガイドさんが当時の状況を話してくださいましたが、耳をふさぎたくないようなことばかりでした。今、私たちが毎日を平和に過ごしていることを当たり前と思わずに、感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思います。

この旅行で得た経験をもとに、これからも真剣に音楽と向き合っていきたいです。

修学旅行で得たこと

211 松永 実優 (孤野町立八風中学校出身)

私は出発前、楽しい反面不安でいっぱいでした。言葉は通じるのか、正しくお金を出せるかなど、日本とまったく違う文化や環境の中で一週間過ごすことが怖かったです。でも、いざ行ってみると心配は無用でした。現地の人は優しく接してくれるし、間違ってお金を出しても丁寧に教えてくれました。

言葉の点でも、英語と身振り手振りでなんとか伝えることができて、感動しました。言葉は分からないのに、心で会話できた気がしてとても嬉しかったです。最初は慣れないドイツ語が怖くて英語ばかり使っていたけれど、だんだん挨拶やありがとうをドイツ語で伝えられるようにもなりました。現地の人と、現地の言葉で会話できたときは、英語のとき以上に喜びも大きかったです。



夢の一週間

211 鈴木 健介 (豊橋市立南陵中学校出身)

遂にこの日がやってきました。大荷物を抱えて電車に乗り、空港へ向かいました。

ウィーンでは、夕食を食べ、オペレッタ「こうもり」を鑑賞しました。パレエ団がとてもかっこ良かったです。歌も演奏も生で聴いて、圧倒されました。翌日にはウィーン少年合唱団附属小学校の子どもたちと交流しました。本当に天使のような歌声でした。とてもかわいらしく、彼らが将来合唱団に入るのが楽しみです。

さらに、ベートーヴェンとシューベルトの家を見学したり、国立オペラ座を見学したりしました。その豪華さには言葉を失いました。「ラ・マンチャの男」の演技の迫力に感動したり、お土産もたくさん買ってあっという間に帰国しました。

いつかお金を貯めて、また行きたいです。

感謝

211 稲垣 璃子 (四日市市立朝明中学校出身)

5泊7日。どの日も私にはもったいないくらいすてきで充実した1週間でした。

飛行機がヘルシンキを経由してミュンヘンに到着した時の感動は今でも覚えています。いよいよ修学旅行が始まるんだなと実感しました。ザルツブルクは自然が多く、班行動の時に展望台に登って見た景色は圧巻でした。ホーエンザルツブルク城からミラベル宮殿、シュテファン大聖堂…ザルツブルクにあるすべての建物が見えてとてもすてきな街だなと思いました。

日本に着いて修学旅行の余韻に浸っていて思ったことは、この1週間の充実した修学旅行は、同朋高校に入学したからこそのものであるということです。そしてそれは同朋に入学させてくれた両親のおかげであり、修学旅行に行くことができすぎて感謝しています。

Schedule (行事予定)

4月		
6	水	入学式
7	木	始業式
8	金	基礎力診断テスト
11	月	美術系EP説明会、MP説明会
12	火	語学系EP説明会
13	水	看護医療系ガイダンス
15	金	クラブ総会
20	水	1年生フレッシュマン合宿(～21日)
21	木	2年生遠足、3年生上山研修
22	金	休校日
28	木	内科検診
5月		
7	土	PTA総会、3年生保護者進路ガイダンス、ホームステイ説明会
10	火	歯科検診(～11日)
13	金	体育大会
20	金	ウエサカ祭
24	火	中間考査(～27日)
28	土	PTA常任委員会、地域懇合同地区委員会議
6月		
8	水	生徒会役員選挙立会演説会
10	金	英語検定
13	月	創立記念日
18	土	数学検定
19	日	珠算・電卓実務検定、仏語検定
25	土	地域懇談会
26	日	地域懇談会、簿記実務検定
27	月	期末考査(～7/1)

卒業式

2015年度も、卒業式を挙行することができました。
第2部のテーマは、合唱曲でもある「道」でした。同朋高校で歩んだ道と、これから歩いていく道。過去から未来へと続く、その軌跡を描き出しました。

2015年度

合唱構成詩「道」

◆入学式・フレッシュマン合宿

3年前の春。雨の入学式。知らない人ばかりの中で始まる高校生活。うまくやっていけるか不安だった。緊張のしすぎで、変な歩き方だったかもしれない。でも「新しい人との出会いを大切にする」という強い決意をもって登校した。まさか、こんな3年間が待っているなんて！あの時は夢にも思わなかった。

体育館に立ち込める線香の香り。黒い着物を着た先生が、法輪や八正道・合掌の仕方の説明をしていて驚いた。面白い先生だなーと思ったら、私たちの担任だなんて！

もともと驚いたのが、入学してすぐに行ったフレッシュマン合宿。合格できるのかな？みんなと上手くやっていけるかな？初めは不安でいっぱいだった。だけど、周りのみんなはフレンドリーで、笑い声が

院で働くことの大変さ、やりがいを知ることができた。

商業科は男子が少ない。そのため女子の権力が強かった。週末に僕たちが掃除をしていて、驚いたのは、ゴミよりもたくさん長い髪の毛があったこと。検定前の地獄の日々。授業後も補習で頭がおかしくなりそうだった。だけど、先生や友達の手助けがあったおかげで無事合格。本当に良かった。

音楽科つて、大人しくて清楚なイメージだった。実際は女子力がない子ばかりだった。むしろ、僕たち男子の方が女子力はあったと思う。歌うのが楽しくて、人目を気にせずみんなで歌いながら教室に戻った。おかげで、他のクラスよりも楽しい放課を過ごすことができた。

◆文化祭

最初はやる気がなかった僕たち。しかし、部活と両立しながら頑張る仲間の姿を見て「自分たちも頑張るか」と刺激を受けた。「ねえー 脚本まだできないの？」みんなにせかされた。脚本、部活、入試のレポート。頭がパンクしそうで、ちよと泣いた。なかなか意見がまとまらなくて喧嘩もした。休みの日に学校に来て準備。だんだん仲も良くなってきた。本番、パニッ



あふれ、いつの間にか私も笑顔になっていた。基礎検に全然合格できずにいた。だから、愛情学習で先生とマンツーマンで分かるまで教えてもらった。初めて話す子と必死に勉強した。気づいたら、その子と友達になっていた！基礎検は大変だったけど、この先の3年間が楽しみになった。

◆体育大会

1年生の時は避けていた応援練習。3年生になつてようやく先輩たちの苦労を知った。サボる後輩の姿があつた頃の自分に重なつた。いつもより準備期間が短く、本当に間に合うのか焦つた。でも放課後になると、1・2年生も教室に来てくれて小物がどんどんできていった。

「次、何したらいい？」

「じゃあ、私たちはダンスの練習しよう！」

一人一人の積極的な姿は、今でも心に残っている。なかなか揃つたダンスができなかった。でも、いつもはおちゃらけている彼の見たこともないような真面目な姿に、群団の空気が変わった。

クでセリフを1ページ分飛ばしてしまつた。そこからアドリブの嵐。とっさにみんなが機転を利かせたから、何とか舞台を終えることができた。

影と人の動きを組み合わせる演出は、想像以上に難しかった。途中で「もう無理だ」と思った。文化祭が近づくにつれてみんなの気持ち一つになった。舞台の後、たくさんの人に褒められて、今までの苦労が嘘のように吹き飛んだ。

私たちは生演奏パフォーマンスに挑戦した。最初はうまくできなかったけど、練習の中でクラスの雰囲気、良くなつていった。自分たちらしい演奏ができた。

今まで、文化祭当日も演奏会の練習に明け暮れていた音楽科。今年は久しぶりに、パフォーマンスに参加することができた。歴史を変えたこのクラスは私たちの誇り。



◆日常

クラス替えのたびにドキドキした。だけど、去年も同じクラスだった子とハイタッチ。3年間同じクラスだなんてまさにキセキ。

4限終わりのチャイムとともに食堂へダッシュ。ホッカホカ美味しいランチのためにフライングすることもあつた。いつも笑顔で迎えてくれる食堂のおばちゃんたち。名前を覚えてもらえて嬉しかった。

普段教えてくれないことを教えてくれる、同朋セミナー。タヌキの解剖で自然の摂理を生で見ることで、生きていくことを改めて感じた。

医療看護系プログラムの3年間では、看護師になる夢のために頑張つた。病



東北の現状を知つて、応援してくれる人が増えるたびに嬉しかった。

戦後70年の昨年の夏、僕たちは京都から彦根まで自転車で平和の灯火を運んだ。80キロにも及ぶ道のりには急な坂があつて辛い時もあつたけど、仲間と励まし合つて最後まで走り抜けた嬉しさは今でも忘れられない。

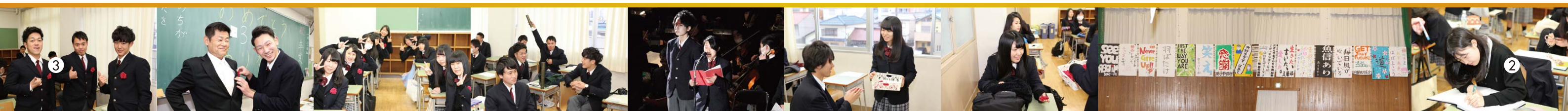
オーストラリアに行つて最初に感じたのは、空気のおいしさと空の広さ。最初は言葉が通じなくて帰りたいと思うことがあつた。向こうの言うことは分かるのに、自分の話したい事が言葉にできないもどかしさ。初めて自分の英語が相手に伝わったときは跳び上がるほど嬉しかった。本当の家族のように優しく接してくれたホストファミリー。帰国する頃には笑い合つて話せるようになっていた。

◆修学旅行

同朋始まって以来の大事件が起きた。風の影響で飛行機が飛ばず、交通費だけが飛んでいった。翌日は大雪でさらにピンチだったけど、なんとか沖繩にたどり着いた。

沖繩に着いてすぐ行われたのは、沖繩戦や平和の大切さぶこと。戦争を体験された方の話を直接伺った。あまりにも生々しくて耳を塞ぎたくなつた。沖繩戦は授業で学んだ以上に残酷で恐ろしいものだった。ガマに入った途端、目の前が見えなくなつて心細くなつた。懐中電灯を頼りに奥に進んで見えてきたのは、当時の生活の痕跡。ここで生活することを想像すると、恐怖で寒気がした。夜、沖繩の学生と平和とは何かを話し合った。基地の隣で暮らす人の生の声を聞いた。

生まれて初めて生で見るシンベエサメ。あまりの迫力に時間を忘れて見ていた。沖繩にはいろんな





生き物がいて新鮮だった。
知らない人の家に泊まる
なんて考えられなかった。でも、出てきた料理はどれも美味しくて、何よりもおじいとおばあが優しくった。一緒に作ったサーターアングーを思い出とともに持ち帰り。波が高くて船が出航できず、民泊が2日間となった私たちの団。その分、伊江島での思い出が2倍となった。でも、別れの時の悲しさも2倍。沖縄という遠い場所にできた家族。おじい、おばあにまた会いたい！

◆音楽科修学旅行

他の学校では味わえない同朋音楽科の修学旅行。5泊7日で音楽の都オーストリアへ！本場の音楽に触れることができると思うと「早く着かないかな？」とワクワクしていた。ワクワクしすぎて疲れて寝てしまった。
起きた時窓から見た美しい景色を見た瞬間、眠気が一気に吹き飛んだ。朝、早起きして数少ないクロワッサンをゲット。おいしすぎて感動した。ただど食べ過ぎてお昼が食べられなくて困った。マウトハウゼン強制収容所。バスを降りた瞬間、重い空気に言葉を失った。ガス室は特に怖くて、ここでたくさんユダヤ人が殺されたと思うと胸が張り裂けそうだった。

ウィーン少年合唱団は、私たちに音楽の本当の楽しさを教えてくれた。一人ひとりが自分を出し切って歌っている姿を見て、もつと深く音楽を



学びたい！負けていられない！と思った。本場のオペラやバレエは言葉に表せないぐらい心に響いた。いつか演奏者として、あの舞台に立ちたい。

◆部活動

笑顔が絶えなかった私たちの部活。本音でぶつかって気まずくなつたときもあった。でも、共に壁を乗り越えてきた仲間がかけがえのない存在。鈴鹿の山に登った。道は険しかったけど、頂上で仲間と食べたカップラーメンの味は忘れない。

ノリで選んだ部活。練習は想像以上にきつかった。でも、いい仲間と出会えてよかった。

生まれて初めての部長。自分にその役目が務まるか不安だった。だけど、部員みんなで作上げた作品を全国大会に持って行くことができた。

朝六時に家を出て夜10時に家に帰る生活が続いた。最後の試合は怪我で出られず、とても悔しい思いをした。

初めは2人しか男子部員がいなかった。白い目で見られたこともあった。でも、文化祭やフェスでたくさんの人に認めてもらえるようになった。

応援してくれてありがとう！

引退試合、最



後のホイッスルが鳴った。顧問に「お疲れさん。ありがとう。」と握手を求められた。涙があふれた。努力をすること、二つのことに夢中になることの大切さを学ぶことができた。練習が辛くて、何度もやめたいと思った。それでも、3年間続けてきたことは僕の誇り。

◆後輩へ

時には、困らせたり、きつい事を言ったりしてしまった。それでも頼りない私たちをいつも励まし、辛い時も嬉しい時も一生懸命サポートしてくれたから頑張ってきたよ。ずっと応援しているからね。3年間はあつという間に過ぎます。高校生活を大切に過ごして、ゆつくりこの先のことを考えてほしい。そして、残りの高校生活を充実させてください。同朋は生徒の気持ちを大切にしてくれる学校です。目の前のチャンスを逃さず、自分のやりたいことに挑戦してね。

中心で関わるからこそ苦しい時もあるけど、そんな時こそ仲間を信じることで、1つの大きなものを作ることができた。行事は一人でやるよりもみんなで行ったから楽しかった。たくさんの人を巻き込んで楽しさを共有してほしい。部活やクラブで仲間と関わることで、自分自身が成長できました。だから、色々な価値観に触れてください。

◆両親へ

「ただいま」
「おかえり」
家に帰ると待っていたのは、温かいご飯、温かいお風呂、温かい家族。だから、嫌なことがあっても忘れることができました。いつも迷惑ばかりかけて、怒らせてしまった。時

には八つ当たりをしたこともあったね。けれど、本当は好きだよ。普段仕事で忙しいのに、いつも私のことを一番に考えて支えてくれた。そのおかげで、楽しい学校生活が送れました。18年間ありがとう。

複雑な家庭に生まれてしまったことを何度も恨んだ。なんで自分だけ？と思う毎日だった。でも、よく考えたら頼ってばかりだった。今までたくさん暴言を吐いてごめんささい。産んでくれてありがとう。

部活の試合の時、毎回応援にきてくれた。精一杯の声援に力が湧いて、全力で走り抜くことができたよ。

◆友達へ

クラスが違っても、会いに行くと笑顔で迎えてくれた。あなたといると自然な自分でいれたよ。ホッできる時間をありがとう。

入試前日、友達から「今まで頑張ってきたの知ってるよ」という手紙をもらった。当日はその手紙をお守りにした。見る度に自信がわいたよ。

学校に行きたくないなと思っていた私を心配して話を聞いてくれた。あなたが背中を押してくれたから、今の自分がいます。辛い時、嬉しい時いつも隣にいてくれた。喧嘩もたくさんしたけど、私のことを一番理解してくれる友達はあなたでした。最高の友達に出会えてよかった。みんなと居る時間が一番好きだった。



◆先生へ

バカみたいに騒いだり、泣いたりしたことすべてが思い出だよ。離れていてもそれぞれの夢に向かって頑張ろうな。

毎日「スカート」「リボン」「ネクタイ」「第一ボタン」うるさい先生ばかりだった。でも、いつも反抗してきた私たちを見捨てずに面倒をみてくれた。迷惑ばかりかけてごめんささい。

できないことやきついことはかり言ってくる顧問の先生は大嫌いだ。ただ、「チームに必要な存在」と言ってくれて嬉しかったです。

本番になると失敗してしまう。緊張しやすい私に先生は、アドバイスをしてくれた。そのおかげで自分の中で最高の演奏ができました。

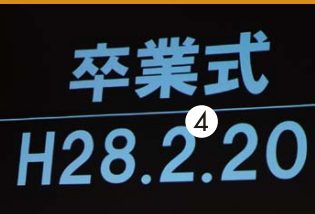
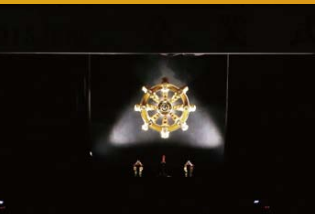
担任でなくても心配してくれた先生方。何よりもうれしかったのは、「俺らは家族や、俺をババだと思え」と言ってくれたときでした。

何度も面接練習に付き合ってくれた。あまりに厳しくて泣いてしまった。でもそのおかげで、希望の進路に進むことができました。決まったときに一緒に喜んでくれたことは忘れません。

生徒想いの先生方に囲まれ生活できて幸せでした。そして、ここで得た力や、知識などを無駄にしないで、精一杯頑張ります。成長した姿を見せに来ます。

◆将来の夢・希望

前からの夢だった保育士を目指すことにした。春から不安だけど、



学校長式辞

ただいま、卒業証書を手にした38名の卒業生のみなさん、卒業おめでとう。みなさんの門出を心よりお祝いたします。

振り返れば、19年ほど前のある日、命の灯火が点りました。命は大人たちには守られながら自らを育んできました。そして今、高校を卒業するまでに大きく成長したみなさんがここにいます。私は、その素晴らしいことと不思議さを思わずはいられませんでした。

ある人の詩に、「そして」で始まる不思議な詩があります。何の前触れもなしに「そして」で会話を始める人はいません。だから不思議な感じがするのです。紹介しましょう。

芝生

谷川俊太郎

そして私はいつか
どこから来て
不意にこの芝生の上に立つていた
なすべきことはすべて
私の細胞が記憶していた
だから私は人間の形をし
幸せについて語りさえしたのだ

不思議なことに、物心ついた時には既に私たちはこの世にいました。それ以前の記憶はもちろんありません。気がついたら自分はこの世に「私」とか「ぼく」とか、自分を語る何者かがいて、喜びや悲しみを感じ、夢を語り過去を振り返る。時には恋もしたでしょう。それが「自分」でした。

さらにその一つひとつの命が「幸せ」という、抽象的でかなり高度な事柄を語る一人間の存在とは、何と不思議なものでしょう。その不思議な命たちが今ここに集い、未来へ羽ばたいていきます。それぞれの夢を胸に抱いて、そしていずれば、保護者のみなさんが19年ほど前にそうであつたように、多く



は新しい命を育む一人となつて人の歴史にまた足跡を残していくことでしょう。みなさんが生まれ育つたこの日本は平和な国です。しかも、自然に恵まれ、産業の発展した豊かな国でした。戦火もなく、飢餓もない平和で豊かな国です。

けれども、思い出してください。間もなく5年前のことになる、東日本大震災を。東北の災禍では、続いて起こった原子力災害が更に深刻さを加えました。今もその爪痕に苦しむ人たちがいます。果たしてこの日本が、本当に「命」を大切にできる国と云えるのかどうか、不安を感じざるを得ません。

また、70年以上前、日本は世界の国々を相手にした戦争のさなかにありました。たとえ今は平和であっても、そのまま平和が続くとは限りません。むしろ平和を脅かしかねない暗い影が、いつの時代にも、目立たぬところにあるのです。

これまでみなさんは周囲の人たちに守られて生きてきました。今度は自分で自分を守り、いずれ人を守る側に立つのです。この夏には初めて18歳が選挙権を行使することになります。「ホンモノの大人」なのかどうか、社会に責任を負った行動ができるかどうか、が試されるのです。この国を、「命」を守る平和な国にすること、自分たちの「幸せ」を自分たちで守ること、これが選挙権の持つ意味なのです。

先ほどの、谷川俊太郎さんの詩の結びに戻りましょう。

だから私は人間の形をし
幸せについて語りさえしたのだ

PTA会長祝辞

同朋高校PTA会長 寛 正紀

私たちは人である以上、ずっと「幸せについて」語っていきます。平和で豊かな日本がこれからも続くよう、努力する国民の一人として、みなさんが「幸せについて」語り、さらに立派に成長されることを心から願ひまして、式辞といたします。



今日ここに卒業を迎えることができたのは、井戸校長先生をはじめ、諸先生方、学園関係者のみなさまに、学業のみならず、生活面におきましても、大所高所からご指導いただきましたこと、保護者を代表して心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

そして、保護者のみなさま、お子様のご卒業おめでとうございませう。今日この日を迎えて心に浮かぶ様々な思い出とこれから向う未来へ、希望に胸を膨らませるの、前を向いて歩いていく我が子に、たくましさを感じるその反面、少し寂しさも感じていることだと思います。

また、「こんなに学校に来るなんて思ってもみなかった」「子どもとともに高校生活を送った感じ」など、多くの学校行事やPTA活動へ、たくさんの方にご参加、ご協力いただきましたことに改めて感謝いたします。本当にありがとうございます。

さて、卒業生のみなさん、高校生活はどうでしたか？ 思い描いたものでしたか？ 「勉強、受験」とにかく部活」楽しかった」辛かった」修学旅行では悪天候で飛

思い出の卒業式

実行委員会では第一部在校生企画として映像を作り、3年生の先生方に出演していただきました。映像は20前後のシーンがあり、実行委員会のメンバーで役割分担をしました。撮影ではアシデントがいろいろありました。伊吹先生の出演シーンの時には、突然雨がざあざあ降ってきました。その中でも一生懸命人工芝で走つてくださる姿に、出演者（実行委員）も負けじと頑張りました。コマ撮りムービーを実施したということ、多くの先生方に何回も撮影に協力していただきました。本当に感謝しています。

在校生 204 鬼頭 惇生（港北中学校出身）

また編集作業もとても大変でした。編集作業は約4日かかりました。特に映像に効果音を入れる作業に苦労しました。こうした経験は、実際にやってみないと分からないと実感しましたが、先輩方に良い思い出を作ってもらいたいと思つたのでがんばりました。

卒業式が終わつて先生方に「よい卒業式だったよ。」と言つていただき実行委員長としてとてもうれしかったです。僕たちの代で創り上げたことを、来年にも活かしていきたいです。

長く短い2年間

初めて出席した卒業式。同朋に入学して初めて体験した、同朋流の卒業式。今まで味わったことのない緊張感とわくわく感で心の中はいっぱいでした。今年の卒業生のみなさんはとても思い出のある人ばかりで、第一部のスライドショーでラグビー部の写真が出たときは、思わず涙がこぼれました。再来年、自分たちが卒業するときは、もつと感極まつてしまふんじゃないかと思ひ、少し心配です。できれば笑つて卒業したいと思ひますが、きっとそれは無理だと思ひます（泣いてしまふ気がします）。

2年後の今、自分は何をしているのでしょうか。今のままだと、きつと部活も引退して、やることもなく呆けていると思ひます。そうならないために、今の

在校生 105 小出 光一（志賀中学校出身）

うちにやるべきことを見つけて充実した「3年生ライフ」を送りたいです。

これから卒業するまでの2年間は長く短い2年間だと思ひます。日数的に見れば確かに長いのですが、何かに一生懸命になつたり、かけがえのない友と過ごしたりできる時間が2年というのはとても短い気がします。自分が卒業するときには「もう2年も過ぎたのか」という気持ちになつていると思ひます。

限られた高校生活の中で自分の本当にやりたいこと、好きなこと、時間を忘れて夢中になれるもの、そして、かけがえのない友を作つたり見つけたたりできればいいと思ひます。

卒業生感想

卒業式を創る存在のひとりとして関わることができて本当によかったです！ 卒業後、私たちはそれぞれの「道」を歩んでいきます。しかし、同朋高校という、その「道」のスタートは同じです。私は同朋高校で数え切れないほどの経験をし、学び、成長できました。それをこれからの未来に繋げていけるように、新しい場所でも頑張っていきます！

同朋高校、3年間ありがとう。

卒業式を終えて

卒業生 302 大場 千尋（あま市立七宝中学校出身）

2月20日 卒業式。あの日から、あつという間に時間が過ぎていきました。あの日実感できなかった「卒業」も、最近になつてようやく実感しています。同朋高校は私にすてきな思い出をたくさんくれました。いろいろな行事を通して、私はたくさんの仲間に出会うことができました。

普通科・商業科・音楽科が一緒に一つひとつのものを創る機会はある、思つていたよりたくさんはあります。その中のひとつ、そして最後の行事でもあった卒業式では、苦労もありましたが、その何倍もの楽しさを感じました。私は、1年生の頃から「卒業式」のあの舞台上に立つて朗読者をやりたい」と思つていました。学年が上がるごとにその想いは強くなつていきました。そして今年、実行委員として式を創り上げながら、朗読者として憧れの舞台上立つことになりました。

実際に朗読者をやつてみると、1、2年生の頃「見ていた」卒業式とは違つていました。滞りなく進行していた今までの卒業式がまるで嘘のようでした。苦労の連続でした。しかし自分たちで創つていくからこそ、その分感動も大きく、私たちの学年らしさが出ている卒業式になつたと思つています。

卒業式を創る存在のひとりとして関わることで、本当によかったです！ 卒業後、私たちはそれぞれの「道」を歩んでいきます。しかし、同朋高校という、その「道」のスタートは同じです。私は同朋高校で数え切れないほどの経験をし、学び、成長できました。それをこれからの未来に繋げていけるように、新しい場所でも頑張っていきます！

同朋高校、3年間ありがとう。

在校生感想



1年生最後の行事である球技大会は、大成功だったと私は思います。クラ連のメンバー、楽しんでくれた1年生、本当にお疲れ様でした。私は筋肉痛と日焼けをしてしまいました……。

クラ連の人たちはずいぶん前から授業後に残って、種目やルール決め、買い出しなど、たくさん頑張ってくれたと思います。

私は最初、知らない人たちと一緒に準備できるか不安でした。でもちゃんと決まったり、クラ連で活動したおかげで他のクラスの子と仲良くなれて、準備も楽しかったです。

当日、「久しぶりにこんなに頑張った！」「負けたけど楽しかった」という声を聞いて、本当に嬉しかったです。あと少

苦しみも喜びに変わった！

109 岸野 楓（御田中学校出身）

しの差で負けて悔しかったチームも、1位をとってみんな喜んでチームもいろいろあると思いますが、1年生最後の良い思い出になつてくれたと信じています。

決まらなくて大変だったこともたくさんあったけれど、振り返ってみると楽しいことの方がたくさんあったので、今回クラ連で球技大会ができて良かったです。

私は前期後期とクラ連で活動してきました。球技大会はそんな私たちが企画運営する行事です。私の担当種目はドッチボールでした。当日みんなが楽しめるように同じ担当の子たちと考え、男子はハンドとして利き手では投げない、など細かいルールを決めていきました。他にも景品を何にするかなど決めることはたくさんありました。

なんとなく予想はしていましたが、やはり当日たくさん問題が起きました。想像よりもコートが広く、4分経過してもどのコートも1人も当たっていませんでした。そこで男子のハンドをなくしたり、コートを狭くしたり、女子の横投げをありにしたり、途中でルールを変更することになりました。変更の指示がなかなか通

1年生 球技大会



らず、商業科のあるチームには男子がいないのに男子のハンドをなくすのは不公平だという意見など、問題はいろいろありました。しかしここまで臨機応変に対応できたのは、本当に一緒にいたクラ連の仲間のおかげだと思います。

閉会式の時間が遅れてしまったりと最後まで予定通りには進みませんでしたが、自分たちで創り上げた今回の球技大会は成功に終わったと胸を張って言いたいと思います。

みんなの力で乗り越えたハプニング

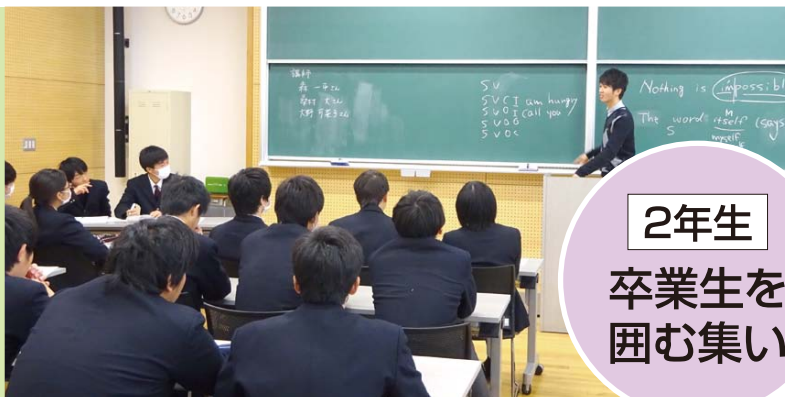
110 菅沼 菜々花（助光中学校出身）

私は前期後期とクラ連で活動してき

ました。球技大会はそんな私たちが企画運営する行事です。私の担当種目はドッチボールでした。当日みんなが楽しめるように同じ担当の子たちと考え、男子はハンドとして利き手では投げない、など細かいルールを決めていきました。他にも景品を何にするかなど決めることはたくさんありました。

なんとなく予想はしていましたが、やはり当日たくさん問題が起きました。想像よりもコートが広く、4分経過してもどのコートも1人も当たっていませんでした。そこで男子のハンドをなくしたり、コートを狭くしたり、女子の横投げをありにしたり、途中でルールを変更することになりました。変更の指示がなかなか通

2年生 卒業生を囲む集い



同朋高校ではキャリアデザインの一つとして、さまざまな分野に進学・就職をした卒業生を招き、「卒業生を囲む集い」を実施しています。進路について意識を深め、具体性を持つて考えるきっかけを作ることを目的としています。

今年度は12の分散会を開講し、各分散会ごと3〜4名の卒業生を招きました。高校時代の活動や卒業後の進路、今頑張っていることなど、専門的な内容を踏まえたお話を聞くことで、進路に対し具体的に考える有意義な場となりました。

それぞれの話を聞いて、自分が興味を持っていたことについて、また大学・専門学校でどんな環境でどんな勉強ができるのかを詳しく知ることができました。私はまだ進路がはつきりと決まっていなかったので、今回話を聞かせていただきとても参考になりました。今からでも自分がやりたいことに必要な勉強を意識していこうと思いました。

205 元場 瑞姫（日進西中学校出身）

203 服部 裕介（藤浪中学校出身）

201 平鍋 希歩（弥富中学校出身）

〈生徒感想〉

3名の方のお話を聞きました。どの方も「夢」の話をされていて、その話の中に「どんな小さなことでもいいから夢を持つことが大事」という言葉が心に響きました。夢を持っていると、壁にぶつかった時に原動力になつてくると教えていただきました。3名の方は今でも夢を持っていて、私もこれから先、いつになっても夢を持ち続けていこうと思いました。

お話を聞かせてくださった方々は目標をしっかりと持っていて、その目標に向かって努力し続けていました。目標にたどり着くには近道はありません。厳しくても諦めてはいけないと思いました。僕自身も目標を諦めようとすることもありましたが、今回話を聞いて、どなたも諦めずに日々努力し頑張っている姿に、僕も目標に向かって努力し続けようと思いました。

卒業生へのメッセージ

- 101 勇気のトビラ
- 102 Y=Your D=Dream K=Knock out
- 103 君のハートにレボリューション
- 104 感謝
- 105 水色群団で良かったよ〜
- 106 飛翔
- 107 顔晴れ
- 108 終わりは始まりの鐘
- 109 自分の目指す場所へはばたこう
- 110 たくさんのありがとう
- 111 One For All All For One
- 112 伝えたいよ大きなサンキュー
- 201 Kきつと M未来は M待っている
- 202 ここがゴールでスタートだ!!
- 203 めんたる めんたる〜
- 204 また「いいね」してね。
- 205 未来のPassenger
- 206 かんしゃです
- 207 子どもは夢を見る 大人は夢を叶える"
- 208 若木は嵐に育つ
- 209 君の心に同朋メモリー
- 210 笑うが一番
- 211 HAM 走り出せ 明日に向かって



Club & Award News

柔道部

- 平成27年度 愛知県高等学校新人体育大会 柔道競技
 - 女子48kg級 優勝 桑原 栞奈(209／一宮市立千秋中学校出身)
 - 全国大会出場
 - 女子63kg級 第3位 小山 真季(107／豊川市立東部中学校出身)
 - 男子60kg級 第3位 杉浦 冬唯(102／岐阜市立岐阜西中学校出身)

女子バスケットボール部

- 平成27年度 愛知県高等学校新人体育大会
 - バスケットボール競技 女子の部 第5位

囲碁・将棋部

- 第20回全国高等学校将棋女子選抜大会
 - 澤田 萌々香(201／日比津中学校出身)
 - 澤田 菜々香(110／日比津中学校出身)

女子蹴球部

- 2015年度 愛知県高等学校女子サッカーリーグ1部 優秀選手賞
 - 伊藤 麻実(308／弥富市立弥富中学校出身)
- 第4回AIFAアウォーズ2015年間優秀選手
 - 伊藤 麻実(308／弥富市立弥富中学校出身)
 - 水野 江美(209／御田中学校出身)
- 平成27年度 愛知県高等学校新人体育大会
 - 女子サッカー競技 第3位
- 2015年度 愛知県高等学校女子サッカー1部リーグ 第3位
- 2015年度 愛知県高等学校女子サッカーリーグ1部 優秀選手賞
 - 伊藤 麻実(308／弥富市立弥富中学校出身)

(クラス表記は、2016年3月現在)

合格体験記

先日卒業した先輩から、在校生のみなさんに進路に関するメッセージを寄せていただきました。

愛知県立芸術大学

音楽学部 音楽科

器楽専攻弦楽器コース 合格

音楽科 黒川 真洋
(桐中学校出身)

音楽科に入って最初の1年は「音楽を続けていくためにはどんな勉強をしていくか」という、音楽と勉強の仕方を学びました。その時に、今まで学んだことのなかった音楽理論の勉強、音楽の歴史の勉強をして音楽を学ぶ楽しさを実感しました。そこで「生、音楽の仕事をしていきたい」と強く思いました。

ところが「音楽の仕事」といつても、どんなところで、どんな活動をしていくのかということは考えていませんでしたし、音楽大学に入る事だけを目標に勉強をしていました。高校2年生の時にオーストラリアへ修学旅行に出かけ、そこで私の音楽に対する考え方が変わりました。今までもヨーロッパの音楽には憧れがあり、やはり「将来も、外国に住んで音楽をしたい」という理想がありました。そうした中、この修学旅行で実際にハイドンが活動していた教会や、大きな寺院、美しい宮殿、道で音楽を自由に奏でる演奏家に近くで触れるなどできて、さらには近くで見るヨーロッパのオペラと素晴らしい演出のもとで作られたオペレッタとバレエは私に衝撃を与えました。今までこれほどまでに音楽で衝撃を受けたことはありませんでした。

藤田保健衛生大学

医療科学部 看護学科

合格

普通科 若松 亜由美
(柳中学校出身)

私は12年とMPに取り組みました。MPを受けるにはAPを必ず受講しなくてはならないので、APも2年間続けました。また、3年次には進学補習を受けました。

私は公募制推薦入試を受験したのであまり学科の勉強は必要ありませんでしたが、英語に関しては入試で長文読解が出題されたのでとても役に立ったと思います。通常授業だけでは覚える単語量は少なく、文法などの問題の解き方も詳しくは教えてもらいう事ができません。APや進学補習で培った経験が大きく受験に役立ったと思います。また、特にMPではボランティア活動や赤十字の講習を受けて取得ができる資格がとても役に立ちました。私は面接の際に資格について触れられ、面接官に褒められました。看護医療系だけでもしませんが、資格はとても役に立ちます。

3年生になり、私は自習室へよく通いました。

め準備をしました。

見学を終え、すぐ入社試験の準備に取り掛かりました。参考書で一般常識の問題を解いたり、面接練習をしたりしました。

面接練習は何人も先生が指導してくださるので、たくさん予約を取って積極的に練習すると良いと思います。自分だけでは気が付かない、お辞儀の仕方や歩き方、姿勢も練習できます。私は初めまったくできていませんでした。しかし初めは上手くできなくても、練習をすることで克服することができず。最初は上手くいかなくて不安になったり焦ったりすることもあると思います。回数を重ねることで自分の自信に繋がります。

私は12月下旬に2社目に受けた「一柳葬具總本店」から内定をいただきました。仕事内容を細

2015年度 合格状況

(2016年3月31日現在)

四年制大学

同朋大学・名古屋音楽大学・名古屋造形大学・大谷大学・岐阜大学・愛知県立芸術大学・愛知大学・愛知工業大学・名城大学・中京大学・愛知淑徳大学・愛知学院大学・藤田保健衛生大学・金城学院大学・相山女学院大学・日本福祉大学・名古屋外国語大学・名古屋学院大学・名古屋学芸大学・中部大学・日本大学・日本歯科大学・獨協大学・拓殖大学・京都外国語大学・京都産業大学・京都精華大学など

短期大学

南山大学短期大学部・名古屋短期大学・愛知学院大学短期大学部・岐阜保健短期大学・名古屋女子大学短期大学部 など

専門学校

愛知県立総合看護専門学校・名古屋市医師会看護専門学校・中部看護専門学校・えきさい看護専門学校・星城大学リハビリテーション学院・米田柔整専門学校・大原法律公務員専門学校・中部美容専門学校・中日美容専門学校・名古屋情報メディア専門学校・ニチエ調理専門学校・名古屋医療秘書福祉専門学校・名古屋芸術大学保育専門学校・名古屋文化学園保育専門学校など

就 職

日本郵便・トヨタ自動車・イオンリテール・信用組合愛知商銀・一柳葬具總本店・プーマジャパン・ジェイアール東海バスセンター・アルプススクール・つゆはし歯科 など

商業科



憧れの五種目1級

310 福安 幸叶 (蟹江町立蟹江中学校出身)

私は、五種目1級(五冠)を憧れとしていました。1年生の頃は、そのような制度を知らず、ただ何となく学校生活を過ごしていましたが、卒業式前日の表彰式で、先輩方が複数1級取得全国表彰や、職業教育技術顕彰を受けている姿を見て、「私もあんなふうに表彰を受けたい」と思ったのが、五冠を目指すきっかけとなりました。

2年生から、私は検定試験合格に力を入れ始めました。1年生のときから意識を持っていたら、思ったこともありましたが、一つの検定と真面目に向き合って勉強することで、スタートが遅れた私も五冠をいただくことができました。

私が五冠となったことは、私自身の努力だけではなく、私を支え、一緒に教えてくださった先生方はもちろん、私を支え、一緒に教えた友達。

全国商業高等学校協会主催 検定試験

五種1級合格者

福安 幸叶 (蟹江町立蟹江中学校出身)

四種目1級合格者

橋 紀美子 (清須市立新川中学校出身)

前田 静佳 (豊田市立豊南中学校出身)

三種目1級合格者

小関 万葉 (あま市立美和中学校出身)

山森 彩乃 (供米田中学校出身)

花本 華恋 (一色中学校出身)

2学期に入ると大学の過去問に取り組みました。私は公募制推薦入試にかけていたので、進路指導室にある公募制推薦の過去問をコピーさせていただいたり、オープンキャンパスでいただいた過去問を、ひたすらこなしました。分からない問題を教えていただき、小論文は先生たちに多くのアドバイスをいただきました。面接練習では担任の先生や他の先生、そして友達とも何回も行いました。1回目の面接練習では、考えてきた返答につまづいてしまいました。返答を考えていない質問がくる、焦っていました。しかし何回も練習をしたこともあり、試験前日には堂々と返答できるようになりました。当日もしっかりとできました。

私は、自分で「とても遠回りしているな」と感じる事があります。しかし、遠回りをして無駄と感じる事やっていたとしても、いつか無駄な遠回りではなく、と信じています。私は10年にわたって「看護師になりたい」と思い続けてきました。第2志望の大学に合格することができ、夢の実現に大きく近づけたのは、遠回りや無駄だと思ふところの積み重ね、そして家族、先生方達の応援のおかげだと思います。これからみなさん、いろいろと大変だと思いますが、くじけずに頑張ってください。

かく理解して、自分なりに仕事に対する考えをまとめ、志望動機も何度も書き直しました。そして入社試験に臨みました。自分自身の「この会社で働きたい!」という気持ちを上手に伝えられたことが内定に繋がったのだと思います。また就職するためには体調管理にも気を付けなければなりません。私は3年間無遅刻・無欠席でした。これは少しでも体の調子がおかしいと思ったら、早めの対応をしてきたからだと思います。体調管理は基本的なことなので気を付けてください。

就職活動中は前が見えなくて、分からないことも多くとても大変だと思います。そういう時には仲間や家族、先生方をたくさん頼って、自分が納得できる会社を見つけてください。

遅くまで学校で勉強していても、笑顔で帰りを待っていてくれた家族。多くの方から支えていただいたからこそ得られた結果です。

商業の勉強は、誰もが「0」からのスタートです。あれから3年が経ち、私は商業科に入って本当に良かったと思います。これからの人生で活用できる実践的な内容を学ぶことができたし、なによりも周りの仲間の大切さを学ぶことができたと思います。

私は2年間情報処理部で活動しました。部活では検定に向けた勉強に取り組むことができ、分からないことは顧問の先生や先輩からすぐに教えてもらうことができました。先輩に教えることでより理解することができました。

授業や部活動、そして仲間のおかげもあり、五冠だけでなく全国商業高等学校協会の理事長賞も頂くことができました。これらは私の一生の誇りです。高校3年間の思い出とともに大切にします。

先輩のみなさん。もし目標がないのであれば、検定試験合格を目指してはいかがでしょうか。自分の成長を感じることができただけでなく、同じ目標に向かう仲間の大切さを実感し、共に頑張ることができそうです。私は、同朋高校商業科だから学べたことを活かし、これからも頑張っていきたいと思います。